

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	核燃料サイクル関係推進調整等委託費			担当部局庁	研究開発局		作成責任者
事業開始年度	昭和57年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	研究開発戦略官(核燃料サイクル・廃止措置担当)付	研究開発戦略官(核燃料サイクル・廃止措置担当) 井出 太郎	
会計区分	エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計に関する法律施行令 第51条第1項第20号			関係する 計画、通知等	エネルギー基本計画(令和3年10月22日閣議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	エネルギー対策費		
施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	国民の原子力に関する理解の醸成を目指して、国民(情報の受け手側)の視点に立った正確な情報提供等に取り組むことにより、原子力研究開発の意義や原子力施設の安全対策等に対する国民への知識の普及を図る。事業に当たっては、「エネルギー基本計画」(令和3年10月閣議決定)における、「国民各層とのコミュニケーション充実」等を踏まえた実施に努める。						
現状・課題 (5行程度以内)	今後の原子力利用のためには、原子力研究開発の意義や原子力施設の安全対策等に対する国民理解を得る必要がある。 特に、平成28年度に高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃止措置への移行が確定した際には、「もんじゅ」周辺地域を我が国の原子力研究や人材育成を支える基盤となる中核的拠点として位置づけており、当該地域を中心として、国民の多様なニーズを踏まえた上での原子力分野の知識・情報の普及を通じ、原子力分野への国民理解を促進することで、拠点化の足掛かりを作る必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	敦賀市において原子力に関する国際シンポジウムを開催し、各回のテーマに関連する様々な事例を国内・海外の講演者から紹介するとともに、地元住民が直接参加するサブイベントの実施により、原子力分野に関する国民理解を深める機会を提供している。また、シンポジウムの動画配信により、地域住民以外の原子力分野に関する理解促進にも貢献する。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	39	39	39	39	39
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	39	39	39	39	39	
	執行額(G)		22	-	35		
	執行率(%) =(G)/(F)		56%		90%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		56%		90%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	電源立地対策費					
		電源立地等推進対策委託費	39	39			
		その他					
	計(A)		39	39			

活動内容① (アクティビティ)		高速増殖原型炉「もんじゅ」については、平成28年に廃止措置への移行が決定し、その際にもんじゅが立地する敦賀エリアについては、原子力研究や人材育成を支える基盤となる中核的拠点としていくことになった。拠点化の足掛かりとなる取組として、原子力分野についての国民理解促進を目的とする国際シンポジウムを敦賀市にて開催する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		原子力分野について地域住民等の理解促進を図るため、国際シンポジウムを実施。	本事業における国際シンポジウムの開催数。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の開催を中止したため、実績なし。	活動実績	回	1	－	1	－	－
				当初見込み	回	1	1	1	1	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	会場での対面参加・オンライン参加を合わせ多くの人にシンポジウムに参加してもらうことにより、原子力分野の知識・情報が広く普及することが期待され、原子力分野への国民理解促進につながると予想される。そのため、シンポジウムへの参加者数を測定し成果指標とする。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		多数の人にシンポジウムに参加してもらうことにより、原子力分野の知識・情報の普及を図る。	シンポジウムへの参加者数(来場者数とオンライン視聴者数の合計)。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の開催を中止したため、実績なし。 ※目標値は過去2年の成果実績の平均から算出。令和4年度の目標値は、令和元年度及び令和2年度の成果実績の平均から算出。	成果実績	人	369	－	404	－	
				目標値	人	327	－	317	387	
				達成度	%	112.8	－	127.4	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		業務評価報告書								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	参加者数を増加させるとともに、参加者のニーズを踏まえたテーマ設定、プログラム構成等の検討を実施することにより、参加者が各講演やパネルディスカッションの内容を理解できるよう適切な運営を行うことが重要である。そのため、参加者に対し内容の理解度に関するアンケート調査を行い、その調査結果を成果指標とする。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		原子力分野について国民理解促進を図るため、シンポジウム参加者を対象としたアンケートを実施し、内容の理解度について80%以上の肯定的な回答を得る。	シンポジウム参加者を対象とした事後アンケートにおいて「講演・パネルディスカッションの内容はご理解いただけましたか」という項目の肯定的回答率[%] ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の開催を中止したため、実績なし。	成果実績	%	97	－	91	－	
				目標値	%	80	－	80	80	
				達成度	%	121.3	－	113.8	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		業務評価報告書								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	原子力分野についての国民理解促進を図る上では、本シンポジウムへの参加を通じて、原子力分野への興味関心を惹起することが重要である。参加者の理解度の高いシンポジウムを継続して開催することにより、原子力分野への興味を惹起し、シンポジウムやそれ以外の場において原子力関連の情報に触れる機会への積極的な参加を促すことができると期待される。そのため、シンポジウム参加者へのアンケート調査を行い、原子力分野の動向に触れる機会への参加意欲に関する調査結果を成果指標とする。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		シンポジウム参加を通じ、参加者の原子力分野への興味関心が惹起されることを期待し、シンポジウム参加者へのアンケート調査において、原子力分野の動向に触れる機会への参加意欲に関して80%以上の肯定的回答を得る。 ※指標の適正化のため、令和5年度より新設。	シンポジウム参加者を対象とした事後アンケートにおいて「今後、原子力について知る・考える機会があれば積極的に利用しますか」という項目の肯定的回答率[%] ※指標の適正化のため、令和5年度より新設。	成果実績	%	－	－	86	－	
				目標値	%	－	－	－	80	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		業務評価報告書								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

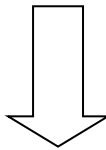
活動内容② (アクティビティ)		高速増殖原型炉「もんじゅ」については、平成28年に廃止措置への移行が決定し、その際にもんじゅが立地する敦賀エリアについては、原子力研究や人材育成を支える基盤となる中核的拠点としていくことになった。拠点化の足掛かりとなる取組として、原子力分野についての国民理解促進を目的とする国際シンポジウムを敦賀市にて開催する。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		原子力分野について地域住民等の理解促進を図るため、国際シンポジウムを実施。	本事業における国際シンポジウムの開催数。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の開催を中止したため、実績なし。	活動実績	回	1	－	1	－	－
				当初見込み	回	1	1	1	1	－
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	原子力分野についての国民理解促進を図るため、シンポジウム非参加者や原子力分野への関わりが薄い層まで訴求対象を広げる必要がある。シンポジウム開催後、地元紙に採録広告を掲載し、シンポジウム非参加者に講演やパネルディスカッションの内容の一部を閲覧してもらうことにより、原子力分野に関する一定程度の国民理解促進を図る。シンポジウム非参加者のうち、採録広告を閲覧した者を対象としたアンケート調査において、シンポジウムのテーマへの理解度に関する調査結果を成果指標とする。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		非参加者層の理解促進を図るため、新聞の採録広告を閲覧した者を対象としたアンケートを実施し、テーマに対する理解度に関して60%以上の肯定的回答を得る。 ※指標の適正化のため、令和3年度より新設。	新聞の採録広告のみを閲覧したシンポジウム非参加者を対象としたアンケートにおいて「テーマについてご理解いただけましたか」という項目の肯定的回答率[%] ※指標の適正化のため、令和3年度より新設。	成果実績	%	－	－	71	－	
				目標値	%	－	－	60	60	
				達成度	%	－	－	118.3	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		業務評価報告書								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	採録広告の掲載により、非参加者へのシンポジウムの内容の共有を図るとともに、非参加者に対し原子力分野への興味・関心を惹起し、シンポジウムやそれ以外の場において原子力関連の情報に触れる機会への積極的な参加を促すことができれば、原子力分野に興味を有する層の増加につながると期待される。そのため、シンポジウム非参加者のうち採録広告を閲覧した者へのアンケート調査を行い、原子力分野の動向に触れる機会への参加意欲に関する調査結果を成果指標とする。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		採録広告を通じ原子力分野への興味関心が惹起されることを期待し、参加者へのアンケート調査において、原子力分野の動向に触れる機会への参加意欲に関して50%以上の肯定的回答を得る。 ※指標の適正化のため、令和5年度より新設。	シンポジウム非参加者のうち、採録広告の閲覧者を対象とした事後アンケートにおいて「今後、原子力について知る・考える機会があれば積極的に利用しますか」という項目の肯定的回答率[%] ※指標の適正化のため、令和5年度より新設。	成果実績	%	－	－	40	－	
				目標値	%	－	－	－	50	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		業務評価報告書								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

* 令和4年度実績を記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
35百万円

原子力に対する国民の信頼を確保するため、情報公開による透明性の向上、迅速な情報提供等、各種広報媒体等を用いた広報活動を体系的に実施する。



委託【総合評価落札】

重点施策広報対策等
35百万円

A.廃止措置等を踏まえた国際シンポジウムの実施
35百万円

高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置に係る取組等に関し、地元を対象とした広報対策を行うほか、全国の国民各層を対象として様々なメディアを活用した広報等を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

